

# 会 議 録

会 議 名	第 3 3 回野田市市民活動支援センター運営協議会
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成 3 1 年度市民活動支援センターの登録状況について</li> <li>(2) 平成 3 0 年度市民活動支援センターの利用状況について</li> <li>(3) 第 3 回市民活動元気アップふえすたの開催結果について</li> <li>(4) 平成 3 0 年度市民活動支援センターの事業実施報告について</li> <li>(5) 平成 3 1 年度市民活動支援センターの事業実施計画について</li> <li>(6) 第 4 回市民活動元気アップふえすたの企画書案について</li> <li>(7) こまめカフェの企画書案について</li> <li>(8) 市民活動つうしん第 2 1 号の発行について</li> <li>(9) 野田市市民活動団体支援補助金について</li> </ul>
日 時	平成 3 1 年 4 月 2 4 日 (水) 午後 2 時から午後 4 時 2 5 分まで
場 所	野田市役所高層棟 8 階 旧レストラン会議室
出 席 委 員	会 長 竹澤 勇司 副会長 立山 喜弘 委 員 加藤 満子、岩井 勝治、渡邊 勝男、北倉 恵美子
欠 席 委 員	委 員 武智 多恵子、酒井 幸子
事 務 局 等	副市長 今村 繁 市民生活部長 牛島 修二 市民生活部次長兼市民生活課長 大塚 盛也 市民生活課長補佐 相塚 恒雄 市民活動支援センター長 釜田 正雄 市民生活課コミュニティ係長 小川 光博 コーディネーター 荒井 ハツヨ、嶋田 由花 支援補助員 向佐 美知子
議 事	第 3 3 回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。

## 1 開会

小川係長

平成31年4月24日午後2時、開会を宣言した。会議の成立について報告した。  
会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。傍聴人の申出がなかったことを報告した。

## 2 副市長挨拶

今村副市長

皆さんこんにちは。本日は新年度第1回、もうすぐ令和という時期での開催ですが、新しい元号に5月からなっていくということなので、この市民活動支援センターの活動も更にパワーアップしていきたいと市の方でも思っております。

本日の議題は31年度の事業実施計画等、いろいろとございますけれども、実は福祉のまちづくりの協議会で、元気アップふえすたとの関係が前から課題になっているとの御意見も頂きました。今、交流会を事務局として実施してはいますが、ふれあいハート祭りと社会福祉協議会なども参加して。今回は、そのことも受けて、生活支援課についても事務局として参加させました。すぐに一緒にやっていくというのは、課題もあるようではありますが、いろいろ情報を交換して良い方向に持っていければと思っておりますので、御協力の方をよろしくお願ひしたいと思ひます。それから、御心配の12月の文化センターの落語がなくなった件については、代わりをのものをしっかり社会福祉協議会でやっていくようにということになっておりますので、御心配なされないようにお願ひしたいと思ひます。

今回も、事業実施計画、こまめカフェや元気アップふえすたの企画案など、いろいろと議題を出させていただいております。ふえすたについては、今言ったような形で年々参加者も増えてスケールアップしてきておりますので、更に連携をうまく取っていければいいなというふうに思っておりますので、よろしくお願ひします。

また、毎回で申し訳ありませんが、私、10分ほどで退席させていただきますので、よろしくお願ひします。

## 3 議事

(1) 平成31年度市民活動支援センターの登録状況について

(資料(1)-1、(1)-2)

議長(竹澤会長)

議題（１）について説明を求めた。

釜田センター長

議題（１）「平成３１年度市民活動支援センターの登録状況について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題（１）について、委員に意見を求めた。

各委員

特に無し

竹澤会長

特になければ私から確認ということによろしいですか。登録団体の推移ですが、平成２８年度から平成３０年度まで登録していないNPO法人が大体２０団体前後ですよ。全体の５割弱ぐらいとなっていますが、登録しない理由として何か共通点というのがありますか。

釜田センター長

市内のNPO法人は、３１年３月末で４５団体となっています。最近の設立状況については、今年の２月に「Earth as mother 千葉」という任意団体がNPO法人化しました。これについては、市の協働のまちづくりの一環として事業を展開しています。総会がもうすぐということで、任意団体として登録していて更新はしていませんけれども、改めてNPO法人になったら登録するという作業は進めさせていただいています。

その他の団体につきましては、NPO法人の講座や助成金の講座などの御案内等をしている中でお誘いはしています。ただ、実質的にNPO法人なので、特にセンターに登録することで活動の場所とか、助成金とか、連携という市との関わりではなく、各団体が独自に活動をしているというところが多いのではないかと思います。福祉の関係で「枝の会」とか、センターとではなく、直接市から補助金をもらっている団体ということで、お声掛けはしているけれども登録には至っていないという状況があります。２８年度以降、大体半分というのが続いているので、市内のNPO法人の共通の課題認識もありますが、個別の課題もありますので、未登録の団体については、引き続きセンターへの登録をお願いしたいと思っています。センターに登録すると、特にホームページの充実ということで、活動内容について、それから冊子等も充実してきているので、その辺をPRしていきたいと思っています。

特に市の補助金をもらっていて未登録の団体には、担当課を通じて登録を促してい

きたいと思います。

副市長

そもそも市民活動支援センターが、行政との活動ということで条例に掲げてありますので、当然担当課として市民活動支援センターにも登録してとお願いするのが筋だと思いますので、担当課を通じて加入促進に努めさせていただきます。

議長（竹澤会長）

ほかに意見がなければ議題（１）については了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

副市長は退席した。

（２）平成３０年度市民活動支援センターの利用状況について

（資料（２）－１、（２）－６）

議長（竹澤会長）

議題（２）について説明を求めた。

釜田センター長

議題（２）「平成３０年度市民活動支援センターの利用状況について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題（２）について、委員に意見を求めた。

加藤委員

市役所８階が、将来こういう状態ではなくなるかもしれないという話もどこかから入ってきたりするのですけれども、その辺りの情報というのはいかがでしょうか。

釜田センター長

私どもが聞いているのは、旧レストラン会議室を開設する時の話として、レストランが閉店になってしまったことに伴って、当面の間は市民活動団体の活動場所として。その後、例えばレストランの再開とか、その他に役所での利用が決まるまでということで、当時は５年くらいと言っていたと思いますが当面の間ということで。ここで結構団体が使っていますので、代替がないと困るのでイオンの会議室を先に確保したということです。レストラン会議室については、まだ他の利用が決まったと聞いておりませんので、今のところはこのままと。ただ、決まり次第というか、そういうことになればあらかじめお知らせして、移転可能なところは良いのですけれども、可能でないところは新たな場所の確保も必要になるので、それについては周知期間を取っ

てお知らせしたいと思っています。

竹澤会長

日頃、イオンノア店の会議室に関する問い合わせというのがありますか。

釜田センター長

最近ですと、新規の登録がイオンの会議室を使って活動したいという話があります。あと、登録団体には最初から案内を送っているのと、センターに来所するとか、相談に来る団体についてはお話をしてお話をして使っていただいているところもあります。今のところは国際交流協会がメインですけども、今月末には野田もの知り検定企画実行委員会も使いますし、他のところも少しずつ使ってきています。ただ、まだまだ空いていますので、その辺は案内していきたいと思います。

竹澤会長

前回、渡邊委員から駐車場が広くていいという話と、意外と中に入ると場所が分かりづらいという話があったかと思いますが、その辺は何か工夫とかは考えていますか。

釜田センター長

御案内する時に、初めての団体については必ず利用案内を出して、地図があるので道順をお知らせはしているのと、入口の所に案内板は出してあります。使ってみれば良さというのが分かると思います。例えば駐車場が広くて、屋上に置けばそのまま階段かエレベーターを降りてすぐのところとか、その辺はPRしていきたい。今度出来た会議室2は、エレベーターを降りてすぐなので、そこからの案内を少し充実させるとか、できるだけ工夫したいと思います。それと、まめバスの本数やルートも充実してきたので、まめバスでどうやったら行けるかというのも情報提供していきたいと考えています。車だけではなく、交通手段がない方が利用しやすい環境作りを考えていきたいと思います。

議長（竹澤会長）

ほかに意見がなければ議題（2）については了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

(3) 第3回市民活動元気アップふえすたの開催結果について

(資料(3)、別紙)

議長(竹澤会長)

議題(3)について説明を求めた。

向佐支援補助員

議題（３）「第３回市民活動元気アップふえすたの開催結果について」を説明した。

議長(竹澤会長)

議題（３）について、委員に意見を求めた。

加藤委員

意見ではなく御報告です。ふえすたを通じて、まちづくりに関係している方々との交流を通じて、ピアニストとしてやりまして、つくしんぼのミニコンサートに御出演いただきました。そういう広がりがありましたことをとても嬉しく感じ、報告させていただきます。

立山副会長

アンケートの地区別来場者のところですが、例えば川間だとか木間ヶ瀬、尾崎の方面だとか、どちらかというとな北寄りの方の参加人数が特出している感じがします。会場に近い清水だとか野田といったところは比較的少ない。これは来場者のアンケートですから何とも言えないですけれども、地元よりちょっと離れた所から来られているということで、これからPRしていく上で参考になるデータなのか、私には分かりませんが何か特徴があるのですか。何を表しているかというのを知りたかったのですが。特に若い住民がいるとか、高齢者が多いとか、いろいろとあると思いますが、何か分析されておりますか。

釜田センター長

分析結果とまではいかないのですが、記載させていただきました。確かに関宿方面などの北寄りの方が多かったというのがあります。その辺は参加した団体の子供さんとか、親御さんというのがスタンプラリーに参加している割合が多いのが要因かなとは思いますが。ただ、全体を見ると参加団体が北側に寄っているわけではないので、実際の来場者はまんべんなく来ていると思います。それぞれの活動地域がありますので、特にスタンプラリーに参加したお子さんの居住地ということで、全体の来場者の特徴の一つではありますが、それが全てではないとは考えています。ただ、実際に来た人全部のアンケートではないので、なかなかそこまではということがありません。すみません。

加藤委員

隣の文化会館でされていた保育園というのはどこだったのですか。

釜田センター長

確か北部だったと。

#### 加藤委員

北部ですよ。そういう関係でも親子連れで来られている方の割合が多かった。それも少し関係しているのかなと思いました。

#### 渡邊委員

アンケートで地区別の話がありましたが、年齢別のところを見ると、非常に偏りがあるのかなと感じます。私が一番関心を持ったのが、中学生から30代、要するに明日を担う人たちの参加が少ないのは何か。自分たちの活動でも思うところがあるのですが、何かその辺の分析とか、今後の進め方とかを聞かせていただければ助かります。

#### 釜田センター長

今回のアンケートについては、ほとんどがスタンプラリー参加者になっています。それと、第3回のターゲットとしては、今までと違って子育て世代も狙ったような形、親子での忍者とか、ベビーマッサージとか、そういったものを含めてということで狙ってはいたのですが、なかなかそのところがというのがありました。

ただ、最近センターに登録する新しい団体などを見ると、若い世代の人が目立つようになってきているので、この後説明するこまめカフェの方でも2回目は子育て世代をターゲットにするのですが、センターの職員にも子育て世代の方がいますので、生の声を聞きながら、うまく呼び出せればと思っています。

全員アンケートはなかなか難しいのと、スタッフも自分のいる場所の状況は分かるが、全体はなかなか見えないので、各会場別の状況も見るようにしていければ。あとは、会場の人から見た来場者の状況というのを。参加団体のアンケートも取っていますが、なかなかこちらの思うところが把握できないということもあるので、第4回はスタッフの目が全体に行き渡るようにということも踏まえて実施できればというのと、もう少しターゲットを若い世代にということを出せればと考えています。

#### 立山副会長

実感として、小学校低学年くらいの親と一緒に来ている子供は多いと感じた。小学校高学年になってくるとほぼいなかった。ですから催し物によってはもっと工夫しなければいけないかもしれない。全然寄り付かなかつたり、おじさん、おばさんだけの世代になってしまったり。ちょっと工夫が足りなかったと参加した側からは考えているのですが、小学校高学年の方や中学生の方も参加できるような催しがあればいいなと思います。

#### 北倉委員

忍者ごっこ、野田組のソーラン躍り、団体のパネル展示にも参加させていただきました。忍者ごっこですけれども、この情報が小学生に行っていなかったなと思っています。子ども劇場の団体として関わりのある親子さんなどに声を掛けて、自治会の回覧板で回って来なかったとか、配布されたよねと聞いても、見なかった、知らなかったというのが結構あった。そもそも自治会の回覧板は、自分の子育てには関係ないという感じで次の家庭に回すというのが大方の方のすることかなと思いますので、もし子供向けで企画を打ちたいというようなコンセプトがあるのであれば、ポスターを小学校全部に貼るとか、子供や親子が目にするような場所での分かりやすい広報というのをもう一工夫したらいいと思います。

#### 岩井委員

委員のおっしゃるとおりです。古いことですが、私も市役所に勤めていた頃に、いろいろなことを市民の皆さんにお知らせしたい。私が一番興味を持ったのが、無年金者ができないように、こういう方は年金が入らないと何回もPRしたのだけれども、結構無年金の方がいらっしゃったりして、回覧なんかは見てくれない。市報も最近は少し見ていただけるようだけれども、なかなかお知らせするのは難しい。お子さんには学校というのはいいと思う。どなたか経験のある方で良い手段があればと思っていたのですが、私も賛成です。それと、アンケートの設問のところでは良かったと答えた人と、悪かったと答えた人、一歩進んで何がという設問を作ってみてはどうでしょうか。

#### 釜田センター長

市民へのPRとしては、市報とかホームページ、つうしんも全戸配布で作りましたけれども、ほかにまめバス、公共施設、地域新聞、それと今年初めてつくつくつーしんというものにも掲載しました。確かに学校関係は、特別支援学校は私が持っていきまされたけれども、市内全ての学校というのは回り切れていなかったの、その辺も含めて第4回に向けて検討したいと思います。

#### 議長（竹澤会長）

ほかに意見がなければ議題（3）については了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

(4) 平成30年度市民活動支援センターの事業実施報告について

(資料(4) - 1 ~ (4) - 5)

議長(竹澤会長)

議題(4)について説明を求めた。

釜田センター長

議題(4)「平成30年度市民活動支援センターの事業実施報告について」を説明した。

議長(竹澤会長)

議題(4)について、委員に意見を求めた。

渡邊委員

学習会ですけれども、ためになることでいいと思うのですが、講座のレジュメとか、紹介する内容というのをどこかに掲載されているのでしょうか。もし掲載されているのであれば、後で振り返ることもできると思うので。

釜田センター長

ホームページとかには出していないですが、作った資料については必要な方には配れるようにしておきたいと思います。それと、助成金の情報については、助成金講座に紹介したものも含めて、野田の団体に合いそうなものをピックアップしてホームページに随時載せるようにしております。そういった二つの方法でやればと思っています。

北倉委員

たくさんの講座を開かれて、たくさんの方が参加していてすごいと思います。それで、段々インターネットが主流の世の中になってきましたが、この波に乗り遅れるとどうになってしまうのかなど。つまり、新しい人たちにたくさん手をつないで活動していきたいと私たちは思っているわけです。他の皆さんの団体も。そういうことなので、もちろん初心者講座も有りですね。それで、やはりホームページは団体にないと、検索しても当たらない。今は若い人もスマートフォンで検索をするという時代ですので、検索は皆できるがヒットする私たちの団体のものが出ていないと全然ヒットしない。野田市には何も市民団体がいないのではないかというふうになりがちですね。ですから野田市で、市民団体でヒットするような、団体ごとのものがあつた方がこれからはいいなという感想があるというのと、あとは何か催しに申し込みをしたいという時のQRコードの申し込みフォームというのを皆さんお作りになるというのではないかというのを教える場というか、学ぶ場というものがあつた方がいいのではないかと、LINEが今すごく便利に使っていますので、団体のLINEを作ると自分の団体の情報を渡しやすいのではないかと。本当は人対人でつながっていくの

が本来ですけれども、一つの案としてインターネットを使ったつながり方というものも探っていくというか、学んでいく必要があるのではないかという意見です。

釜田センター長

特にホームページについても、昨年の運営協議会でも報告させていただいたのですが、向佐支援補助員が指導して無料のホームページを作ったというのがあります。その方も少し慣れていたので、2・3日で作ってやっているという状況があります。問い合わせも多くはないですけれども、少なくもないというのがあるので。ただ、講座までには至っていないというのが需要かなと感じています。

助成金もパソコンも一つのきっかけで、ここに来ていただいて個別の指導を。というのは、個別の力量もあるし、作るものが違うというのもあるので、共通的にできるのは初心者とか、初級のWordとかExcelかなと。それから先は個別でいいのかなと感じています。ですから、全体的なものはこれですけれども、個別相談はいつでもという気持ちですので、問合せなどがあれば教えていただければと思います。

それと、QRコードについても最近センターのホームページなどもQRコードということで、向佐支援補助員に頑張らせていただいているので、センターが自らやっていけばいいかなと。あとは他の団体が真似をしてくれるような、センターってこんなことをやっているんだと言われるようにしていきたい。助成金やパソコンの講座案内、助成金の情報、これからやりたいのはイベント情報とか、会員の募集とかを積極的に市のホームページや、自分の団体のホームページを立ち上げてやってもらいたいので、その辺も次の課題としてやっていければと思っています。

立山副会長

質問ですが、市民活動つうしんは分からないですが、市のホームページに団体からこういうものを載せたいとか、こういう募集をしたいとか、そういう話をすればホームページは持っていなくても、そこを通じて自分たちの紹介ができるとか、そういうことは可能ですよね。

釜田センター長

つうしんについては、イベント情報とスタッフ募集というのがあり、全戸配布をしたり、自治会班回覧をしたりしています。それと、つうしん自体を市のホームページに載せていますので、それでも閲覧は可能です。それをもう少し発展させて、つうしんに載っているイベント情報だけでなく、ホームページ自体に各団体のイベント情報や会員募集とかの掲載もやっていきたいと考えています。もう少しホームページを充実させて、例えば詳しくは団体のホームページに行ってくださいというふうにする

ば、どちらからでも行けるようにして、野田の市民活動というキーワードを入れるとたくさん出てくるというふうになればと思っています。

議長（竹澤会長）

議題（４）について、ほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

（５）平成３１年度市民活動支援センターの事業実施計画について

（資料（５））

議長（竹澤会長）

議題（５）について説明を求めた。

釜田センター長

議題（５）「平成３１年度市民活動支援センターの事業実施計画について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題（５）について、委員に意見を求めた。

《発言無し》

竹澤会長

元気アップふえすたは今度４回目ということで、大分周知されてきたという印象がありますが、サブタイトルを検討するというようなことはあるのでしょうか。

釜田センター長

サブタイトルにつきましては、参加団体と協働で作成するというのが第１回目から同じ基本的な考え方ですが、２回目をやる時に私どもとしては毎回変えていくのかなという気持ちもあったものですから、皆さんにお諮りしたところ、逆に変えなくてもいいという方が多かったです。それで第３回目の時には変えなくてもいいですかという設問にしたら、変えなくてもいいという団体が多かったです。サブタイトルを変えてイメージを変えていくことも必要だし、せっかく浸透してきたのだから変えなくてもいいというのは、まだちょっと不安なところもあります。

それと副市長の最初の御挨拶にあった他のイベントとの合同も、ふれあいハートとかフェスティバルとかありますけれども、交流会を２回実施して、３回目は来月やるのですが、合同でやるという方針の基の交流会ではないんです。合同でやるということも含めて、いろいろな情報交換をお互いに行いましょうということです。特に元気アップふえすたは認知度が１回目、２回目は低かったなので、集客にちょっと難があ

るといふのと、文化会館の大ホールでイベントがあつた時の混雑、臨時駐車場は確保するのですが、来場するお客さんは高齢者が多く、そこから歩けといふのはなかなか難しいといふことで、たまたま第2回目をやつた時にはとりあえず吾平さんの一番近い場所を無償で貸していただいたので本当に助かつたのですが、今は御覧のとおり開発で使えないといふ状況で、第3回目は保育所がキッコーマンの場所を借りてくれたので、何とか大事には至らなかつたのですが、そういう課題があるのと、その辺を何とか解決したいと思つています。

それで、ふれあいハートにしても第17回で、長年やってきてマンネリ化してといふのと、集客に課題があるといふことで、昨年度は岩木小の子供たちを呼んだり、もう片方の福祉のまちづくりフェスティバルと、金婚式のイベントといひますか、落語の寄席なんかも文化会館でふれあいハートと一緒になつて、お互いのメリットのためにやつたといふ形ですけれども、先ほど言つたいろいろな諸事情があつて、このままずっとはなかなか難しいだろうといふのがあるので、改めて元気アップふえすた、ふれあいハート、金婚式事業関連、福祉のまちづくりフェスティバル、大きく四つあります。ふえすた以外の三つは同時開催です。

元気アップふえすたとどこかが一緒になつてお互いにウインウインといふのは、現状分析中でございます。集客についてはこれからも工夫していかなければならないのですが、ふえすたの在り方として、市政としてイベントが多すぎるという御批判がないわけではないし、参加する団体の負担軽減もあるし、大きなイベントにして効率的にやつて、経費を掛けないでお互いが協力してできれば素晴らしいことですが、それを解決するには第4回はまだ無理があるといふことで、今できることをやつていこうといふスタンスでいますので、もうちょっと時間が掛かるといふことです。ですから、少なくとも元気アップふえすたとして単独開催でやる以上は集客をどうするかといふのは課題として持っていますので、参加団体やスタッフからの意見で、例えば大きな看板を入口に立てた方がいいとか、のぼりがあつた方がいいとか、いろいろ提案があつて、少しずつですが実現しています。中にはのぼりを見て来たといふ人もいますので、少しずつですが1回目より2回目、2回目より3回目と来ていますので、運営協議会の皆さんの御意見などを参考に、工夫してやつていきたいと職員一同思っています。ただ、会場とかスタッフとか限りがあるので、その中でいかにできるかといふのは課題として残っているので、またいろいろと御相談させていただきますけれども、それに対して御指導とか御意見を頂ければ有り難いと思ひます。

改めまして運営協議会の皆さんには、参加団体としてはもちろんですけれども、ス

スタッフとしても御協力いただいて感謝しております。

立山副会長

質問です。②と⑨で助成金の基礎講座が5月と6月にありますが、違いを教えてくださいののですが。

釜田センター長

②の助成金学習会は、今年からミニ学習会の名前を変えて助成金学習会にしています。それについては、基礎講座として年4回。下段の方にある⑨の助成金講座（1）と（2）については再掲と書かせていただきました。市民活動団体支援補助金については、平成31年度の採択団体に関するものから、支援センターの職員は審査会の委員を外れて、審査会の委員には運営協議会の委員になっていただいて、センターの職員は指導に専念させていただきました。市民活動団体支援補助金については、年度当初から周知を図って、実際には11月の募集要項で開始するのですけれども、その前段からやることによって平成31年度分も当初予定していた団体数を採択することができました。そういった意味で⑨の再掲は助成金の基礎講座の中に市民活動団体支援補助金も一つの項目としてやりますという意味合いです。

それと、5月、6月の違いは、助成団体の募集時期というのが年間を通してあるのですが、春先は結構こまめに出てくるので、5月の段階の最新の情報と、6月とに分けて。基本的には同じですけれども、助成団体の紹介のところがちょっと違ってくるかなというところでは。

渡邊委員

市民活動つうしんについて、市民用と登録団体用ということで分けて作りましたが、例えば21号で見ますと同じ21号で内容が違う。そうすると、登録団体の人は両方見ることになると思うのですが、もうちょっとうまいまとめ方はないのかなど。

もう一つは時期的に11月には23号が出て、12月には24号が出るということで、これも同じように中身が違ってということになるのですか。混乱しないかと思ひまして。

釜田センター長

今まではA3の両面に市民活動団体用の内容と一般市民用のものが混在していて、パソコン講座とか、登録団体に向けて発信したものに対して一般市民からセンターに問合せがあったり、いろいろ弊害があったので色で分けて、登録団体の方には参考に一般市民向けも出すような形で考えています。それと、23号と24号についてです

が、元々つうしんについては年3回で自治会班回覧又は全戸配布をやってきました。それで、9月15日号から1月15日号までは間が空くということで、登録団体用として11月15日号の設定を始めました。そういう意味で11月15日の23号は登録団体向け、これは一般の自治会班回覧とか全戸配布はしません。ただ、24号は今まで1月15日の元気アップふえすたのPRの紙面なので、それを今年は12月15日なので12月1日に全戸配布という形で、これは同じものを考えています。

渡邊委員

そうすると、同じ号で中身が違うものができる。色が違うから分かるでしょうけど、分かりにくくないですか。

釜田センター長

5月と9月についてはそうなります。自治会班回覧については1枚しか行きませんので、市民の皆さんには1枚しか行きません。登録団体には2枚行くということになります。その辺は発送の時には毎回書かなければいけないと思いますが、色違いということで考えています。違う視点でいくと1枚目も違う内容で作るというのも一つの手ではありますけれども、今回初めて分けていますので、今後の状況を見て改善していこうと思います。

議長（竹澤会長）

議題（5）について、ほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

《異議無し⇒了承》

（6）第4回市民活動元気アップふえすたの企画書案について

（資料（6））

議長（竹澤会長）

議題（6）について説明を求めた。

向佐支援補助員

議題（6）「第4回市民活動元気アップふえすたの企画書案について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題（6）について、委員に意見を求めた。

加藤委員

第1回目の打合せがある前に、ちょっと考えてみました。反省として、アンケートの6ページにのぼり旗は見つかったが、中で何をしているのか分からなかったという

御意見がありました。それを考えた時に、入口でもう少しアピールするものがあるといいのかなと思うのと、個人的な意見ですがもの知り検定の冊子が1、2と出ているのですが、それがとても楽しいんです。これって、何かこの頃活躍する人が低年齢になって来られて、ここでもの知り検定博士みたいな、何か表彰みたいなものがあると、ひょっとしたら参加してもらえるかもしれない。せっかく野田に住んで、野田を好きになって、子供時代を過ごしたいなとすごく思って、もの知り検定の皆さんへの期待が大きいのですけれども、そのイベントを少し工夫していただくといいかなと思います。あと、もう一つ太鼓のどんぐりのチームがとても活気があるので、ああいふ方たちを引っ張れないかなと感じています。

#### 釜田センター長

入口での案内は確かに。第3回で変えたのは受付の場所、それから総合案内を設けたこと、ロビーの中心に交流コーナー、ワークショップができるようなテーブル、椅子を置いたこと、団体紹介ビデオの上映など工夫してやらせていただきました。

今回やって考えたことが幾つかあります。暗いながらも高い空間を利用しようということで、企画倒れとまではいかないですが、音を出すというのが隣同士とかいうのもあって団体紹介ビデオの音が出ない。それでイメージとしては、こんなものがあるよ、それで実際には軽食喫茶コーナーで見てねというコンセプトで作ったのですが、それが薄かったり、明るかったりというのがあったのと、真ん中に総合案内を置いて、テーブルを置いたのは良かったと思います。

それと、パネルについてもできるだけ少なくしようという視点でやったのですが、やはりあそこのロビーは今ある壁面を利用するのが一番いいだろうと。壁面にあるチラシを全て取り払って、そこを使ってパネルを置かない。そこに照明が当たるので使わないという形にしてやると。公民館長とも話をして元に戻せばいいということなので、その方が危なくないし、力仕事もなくなるし、空間も広く使える。

もう一つは、どこで何をやっているかというのが、その度に工夫してやっているのですが、今回、受付と総合案内が離れていて、その連携をしようとしてもスタッフの人数は限りがあってできなかったのもので、今度は受付と総合案内をもう少し一体化して、そこで全体の会場案内ができるようにできないかというのがありましたので、これから検討したいと思います。

それから、もの知り検定はふえすたの効果の一つで、のだ食が第3回で初めて参加していただいて、アスナロとかEarth as Motherと同じグループでやったのですが、その会員がJCの方で、JCがもの知り検定に声を掛けて野田市内

の検定みたいなことをジョイントしてやることになりました。一つのポイントとして、これまで冊子だったのですが、今はタブレットとかで面白く学べるアプリを開発して、それをいろいろなところに置くというのをやろうとしているので、アナログではなく、そういうのをやると子供たちも喜んで参加できるというのがある。ただ、ロビーに持ってくると混雑してしまうので、その辺の配置が難しい。参加団体としては40団体が限界だと思う。展示だけではなく、基本は実演、体験、プラス展示をやっていただきたい。参加して引き込むというのを狙っているので、単に展示するだけではないということにさせていただいているので、それを充実させるのと、いかに導くかということで、ロビーの配置、それから内容をもう少し検討していきたいと思えます。

議長（竹澤会長）

議題（6）について、ほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

〈異議無し⇒了承〉

（7）こまめカフェの企画書案について

（資料（7））

議長（竹澤会長）

議題（7）について説明を求めた。

荒井コーディネーター

議題（7）「こまめカフェの企画書案について」を説明した。

竹澤会長

実は私は今日の議題の中で、一番これが気になっていて、これだけは質問したいというのがあります。一般市民向けの企画、気軽な雰囲気の中での交流ということで、カフェというイメージと、それからチラシを見るとやたらとコーヒーカップが書かれています。それで、このこまめカフェは無料と出っていますが、コーヒーの一杯でも出してくれるのかなみたいな感じがするのですが、その辺いかがでしょうか。

荒井コーディネーター

こまめカフェと付けましたので、交流の時にはお茶を飲みながらやりたいと思っています。

議長（竹澤会長）

議題（7）について、委員に意見を求めた。

立山副会長

7月の対象者について聞きたい。

荒井コーディネーター

7月24日は平日なので、主にシニアの方。定年退職された方とか、後は家で時間があるという主婦の方とかを対象に考えてみました。それで、1月の子育て中のお母さん向けなどは、働いている人も子連れで参加できるようなことも考えれば、土曜とか日曜についても検討するようになると思います。

岩井委員

古い話で参考にならないかもしれませんが、市の長期計画を作る時にアンケートなんか取ると、ボランティアしてみたいという人が結構多かった。実際にボランティアをやっている人の結果を見ると、圧倒的に何かやってみたいという人の方が多いんじゃないかという想定ができたということが記憶に残っている。だから、一気に大成功というわけにはいかないだろうけど、大変だけどころかこういうことをやってもらえるといいと思います。

渡邊委員

ほかでもマッチング会とかやっているところもあるが、私が思うにこれに加えて検討してもらおうということと、例えば中学校でもやっていた職場体験とか町ゼミとか、次の自分たちがどんなことがあるのか紹介する場所ですという中でこういう形を提案というか、提供する場にできるといいんじゃないか。自分たちも活動をしていて、いわゆるとっかかりというか、例えば専門学校に行くとか、看護学校とか行ったりしたこともあるのですが、ボランティアと一緒にやってみませんかというには、やはりなかなか敷居が高い。ですからこういう場を使ってそういう環境の方、例えば中学生でも結構ボランティア体験とかしたりしますよね。そういう場というのをたくさん用意すると本人の意思で来る場合もあるし、もし可能であれば学校とか、そういうところに投げかける場があるといいと思うんですけど。そうするとこれから社会人になる人たちが、自分のやれる時間にどんなことがあるか見せられる良い機会なんじゃないか。そういうものを一緒にこの中に加えていただけると。

立山副会長

自分たちが作り上げていくというのはなかなか大変だと思うんですけど、好きなことに参加したいという気持ちはあると思うんです。ですから声を掛けてみて結果的に市のボランティアセンターに登録されている団体等に加入を奨励するとか、そういう形になるんですよ。

釜田センター長

はい。

議長（竹澤会長）

議題（７）について、ほかに意見がなければ了承で良いか問うた。

〈異議無し⇒了承〉

（８）市民活動つうしん第２１号の発行について

（資料（８）－１、（８）－２）

議長（竹澤会長）

議題（８）について説明を求めた。

嶋田コーディネーター

議題（８）「市民活動つうしん第２１号の発行について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題（８）について、委員に意見を求めた。

〈質疑無し〉

議長（竹澤会長）

議題（８）については了承で良いか問うた。

〈異議無し⇒了承〉

（９）野田市市民活動団体支援補助金について

（資料（９））

議長（竹澤会長）

議題（９）について説明を求めた。

大塚市民生活課長

議題（９）「野田市市民活動団体支援補助金について」を説明した。

議長（竹澤会長）

議題（９）について、委員に意見を求めた。

〈発言無し〉

竹澤会長

プレゼンのやり方とかそれぞれ違って、漫才型もあればいろいろ楽しめて勉強させてもらいました。やはり一生懸命やっているというのが基本なのかなと個人的には感じました。いい勉強をさせていただいて、本当にありがとうございました。

立山副会長

ユニークな団体もありまして、なるほどと感心しました。特に爆笑星の座などは良かった。それから子ども劇場なども北倉委員に説明いただいて皆納得ということで、採択されたようです。後はよさこい躍り協議会も野田の躍りも作ると言っていましたから楽しみにしています。本当にそれぞれ素晴らしい団体でした。

岩井委員

私は市役所時代に財政課長をやったので、少し公金の使い方としてどうかなと少し感じるところがありました。

渡邊委員

いろいろな例えば5年未満と5年以上の二つの活動での支援ということで、自分たちを申請する団体と見た場合でも、こうすれば支援してもらえるんだというようなことが勉強になりましたので、一つはこういう支援をしていただいた、支援した団体に対しては、これが良くできたとか、こんなふうに皆さんできますよというようなことを何かの形で市民の方が見られるというか、発信していただけるといいなと感じました。

加藤委員

本当に、これを使ってどういうふうに新年度に有効活用できたのか、そういう報告を聞きたいと思う。例えば一昨年のみみづくの会さんみたいに一生懸命にやって、たった一人か二人の会員さんが増えただけなのですけれども、でも積極的に元気アップふえすたにも参加されていたりとか、何かそういう前進が感じられるとか、そういう報告を伺えるととても嬉しいので、後が大切かなと思います。

竹澤会長

審査会の基本的なスタンスとして、プレゼンなんですけど、いろいろな形式があったんですけど、基本的にああいう形でも問題ないということで理解してよろしいんですか。

釜田センター長

プレゼンの仕方は、パワーポイントを使ったり、説明だけというところもあったんですけど、一番のポイントは申請書とか目的とか書いてあるんですけど、やはりプレゼンは思いを伝える。これだけ一生懸命この目標に向かってやってきてという中で、もう一つステップアップするにはこれが必要なんだということ、指導する時にも言っていたんです。岩井委員の言うように、それが少なくとも個人じゃなくて市民活動団体として公費が充てられるようなものにしてもらいたいというのはもちろんあります。ですから今おっしゃったように、もらった後の成果がどうなったのかと

いうのもしっかり評価しようと。ただ、センターでできることは何かというと、つうしんの団体訪問記の中で補助金をもらったところはこんなにやっていますよというのは出さなきゃいけないというのが一つと、市民生活課の方になりますけど、補助金を出す側としては、もっと数字とか分析できるような形で、会員数が増えているとか、事業が思ったとおりにできているとか、書類はもちろん出してチェックはしているので、それをうまく市民向けにということが必要とは思いますが。

だからセンターのやるべきことは、申請する時にそこまで考えて申請してくださいということをお願いはしておりますので、後は表現力だと思うんです。何のために何がという表現が難しいとか、欠けているとか、不足しているところが多分にあるので、そこら辺をきちんと公金をもらう立場を十分に認識して、その使い方、目的、用途を明確にして、なおかつ成果を出してもらうという視点で来年度は指導していきますので、31年度までについては市民生活課の方でしっかりとその辺を分析して、何らかの形で少なくとも運営協議会の方には報告できればと考えています。

市民活動つうしんだと全ての団体というわけにはいかないもので、センターとしては市民活動団体支援補助金をもらったところ、他の助成金をもらったところ、助成金をもらってなくてもセンターの知るところで協働のまちづくりをこんなに頑張っているんだというのを次の9月15日号で出そうと思っている。市の補助金、市の補助金以外の助成金、それから自ら頑張っているところということで、うちはこれだけ頑張っているんだということも引き上げていかなければいけないという視点なので、つうしんで全部の紹介はできないからその辺のところは市民生活課の方で考えてもらいたい。

大塚市民生活課長

この補助金の目的といいますのは、やはり皆さんこういう補助金を使って、今までできなかったようなことを新たにやっていただくというのが一番の目的だと思います。この1年間、今回補助金を活用する団体につきましては、実績報告などを上げていただきますので、その中で何らかの形でこの会でも報告できるようにしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

小川係長

次回の運営協議会の日程について、7月18日（木）か19日（金）、それと次の週の22日（月）のいずれかで開催したいと考えている。時間と場所は今日と同じ午後2時から旧レストラン会議室で開催したいが、都合はどうか。

議長(竹澤会長)

次回の運営協議会の日程について、委員に問うた。

《各委員に確認》

委員に問うた結果、18日(木)と19日(金)は都合が悪い委員がいることから、22日(月)に決定する。

小川係長

会議資料等、まとめ次第、早めに通知する。議題については、支援センターの登録状況や利用状況、野田夏祭り踊り七夕などを予定している。

議長(竹澤会長)

会議の閉会を宣言した。